

## 第9回南区自治協議会 会議概要

- 日 時 令和2年2月26日(水) 午後2時～午後3時
- 会 場 新潟市南区役所4階 講堂
- 次 第
- 1 開会
  - 2 部会報告
  - 3 報告
    - (1) 令和2年度南区予算案及び南区役所組織改正について(地域総務課)
    - (2) 南区バス・乗合タクシー運行計画変更について(地域総務課)
    - (3) 病児保育施設の開設について(健康福祉課)
    - (4) 南区感謝状受賞者について(地域総務課)
    - (5) 白根ハーフマラソンについて(地域総務課)
    - (6) その他
  - 4 次回全体会の日程について  
3月25日(水) 南区役所 午後1時30分から
  - 5 閉会

### 事前配布資料

- 資料2 令和2年度南区の主な取り組み
- 資料3 南区バス・乗合タクシー運行計画変更について
- 資料4 病児保育室開設のご案内
- その他資料白根ハーフマラソン大会要項

### 当日配布資料

- 資料1-1 南区自治協議会第1部会 会議概要
- 資料1-2 南区自治協議会第2部会 会議概要
- 資料1-3 南区自治協議会第3部会 会議概要
- 資料5 南区感謝状受賞者一覧(令和元年度)

出席委員： 斎藤栄樹委員，栗田修二委員，須戸官一委員，久保安夫委員，  
小林 誠委員，川村朋生委員，有田正己委員，鞠子幸一委員，  
富井 敦委員，笹川和代委員，今井 剛委員，寺澤和江委員，  
渡邊喜夫委員，小嶋ノリ委員，大那 孝委員，町屋参吉委員，  
山宮勇雄委員，松尾正行委員，田中容子委員，阿部隆一委員，  
小田信雄委員 以上21名

欠席委員： 本永裕子委員，渡邊直樹委員，梅津繁明委員，長澤文彦委員，  
森澤達矢委員，中野裕子委員，鈴木照子委員，和泉美春委員，  
早見真由美委員

事務局：(南区) 渡辺区長，高野副区長，内藤区民生活課長，田中健康福祉課長，  
島岡産業振興課商工観光推進室長，赤塚建設課長，島倉味方出張所長，  
登石月潟出張所長，川崎南区農業委員会事務局長，  
長谷部南区教育支援センター所長，和田白根地区公民館長，  
今井南下水道推進室長，佐藤地域総務課長補佐，  
藤村地域総務課長補佐，地域総務課職員，健康福祉課職員

報道 1名 (新潟日報社)

傍聴者 1名

(午後2時00分)

## 1 開会

○事務局 (佐藤地域総務課長補佐) (配付資料の確認)

○議長 (小田会長) ご苦労さま。随分、マスク姿が見受けられる。予想だにしなかった新型コロナウイルスが昨年の暮れに発生し、今、さまざまところで猛威をふるいつつある。私ども、新潟県もすぐ隣の長野県、栃木県、ここまで感染者が出始めてきた。何とか県境を越えなければいいと思っている。全く予想だにしなかったことである。今、日本だけでなく、世界中が大パニックに陥っている。今後、どうなるか考えると、私のようなものであっても心配ではない。今から116年前の1914年、ヨーロッパ中が大戦火に巻き込まれた。そのとき、スペイン風邪、いわゆるインフルエンザであるがヨーロッパ中、猛威をふるったそうである。戦闘で戦死される方の数よりも、スペイン風邪、インフルエンザで亡くなった方がその鉄砲の弾で亡くなった数の何倍もいたと歴史には書かれている。幸い、私たち人類には、そのスペイン風邪、当時は新型ウイルスだったわけだが、今は抗体ができてことなきを得ている。ただ、家畜の中の豚インフルエンザだけは、そっくりと116年前のウイルスが残って、今も大きな被害を出していることは事実である。何とか、この新型コロナウイルスも、これで治まってくれればと、ひたすら思っている。

さて先月は、私たち自治協議会はお休みを頂いた。令和2年に入って初めての会合である。自治協議会も、今年度、まとめの時期にさしかかった。すでに三つの部会、広報部を含めた四つの部会の中では、今までのさまざまな動き、あるいは行政の動きを検証し、評価をし、それをさらに次の年に移すべく準備をしている。随分と新しい芽生えが、この自治協議会に芽生えてきた。新たなエネルギーを吹き込んでいただいている。この勢いを区民と新潟市とが真の協働で前へ進めるよう、さらに協働を進化させ、そしてこの新しい芽生えを、新しいエネルギーをより大きなものにしていくことが、私たち、令和元年度の任期をまとめるに当たっての大きな役割になろうと思っている。今回の第9回、そして来月の第10回、これできちんと私たち自らの自治協議会のことも含めて検証し、評価をし、次につなげていければと思っている。

本日は、さまざまな面で困難の中、お出でをいただいた。感謝を申し上げる。

ただいまから、第9回南区自治協議会を開催する。

欠席者の報告

傍聴者の報告 (所定の手続きを経て、傍聴していることを報告)

## 2 部会報告

○議長 (小田会長) 本日は、報告事項が主で、議事案件は抱えていない。

部会の報告に移る。部会の検討状況を四つの各部会長から報告してもらおう。まずはじめに、第1部会長の鞠子委員から報告いただく。

○鞠子委員 この資料1-1にあるように、私ども第1部会においては、1月15日と2月12日に行った。1月15日に行った第9回会議では、令和元年度自治協議会提案事業の事業評価について、事務局のほうで作成していただいた案を次回検討することとした。2月12日に行った第10回会議では、事業評価については公共交通PR、区バスの大人の利用者が増加傾向にあるが、残念ながら運営的に厳しい中で、今後も運転免許を返納する人が増えることが予測される。要は買い物難民対策として福祉的な観点も含めてPRの検討を行うということで意見を出させていただいた。会議の中で、にいがた南区創生会議でご提案いただいた交通の利便性を考えたプランについて、みんなで意見を出し合って、意見交換をした。

続いて、防犯関係についてだが、これは1月15日の第3番目に書いてあるが、新1年生に対して、防犯グッズの配付ということを決めさせていただいた。

第10回の会議の一番下のほうに書いてあるが、運行計画、これも後でご提案の中にあると思うが、不便になるような形がないように、事前に変更内容を説明して、しっかりPRを行っていくことが必要だという意見を出させていただいた。第1部会の報告は以上である。

○議長（小田会長） 続いて、第2部会長の笹川委員から報告をいただく。

○笹川委員 第2部会は1月9日と2月6日に部会を開催した。1月9日の部会では、12月8日に開催した婚活イベント「アグリパーク de プレクリスマスパーティー」について、事務局より実施報告があった。前回12月にもご報告申し上げたが、4組カップルが誕生し、誕生した後、先ほど川村委員から報告を受けたが、誕生されたカップルにアグリパークのレストランで使える食事の割引券を差し上げ、1月から2月のはじめのあたりまでに2組の方がご利用されたということで、今後の展開が楽しみと思っている。

令和元年度自治協議会提案事業事業評価について、委員が次回まで考えてくるということで、2月の部会に発表することになった。「家族ふれ愛月間事業」についても、1月の部会では2月の部会までに各自が考えてくるということになり、2月6日の開催となった。

2月の部会では、今年度実施した各事業について、各委員が考えてきた評価を発表しながら事業評価を行った。令和2年度第2部会提案事業については、今まで家族ふれ愛月間で毎年、映画上映を行って、大変たくさんの方からご参加いただいていたが、本来の家族ふれ愛月間事業として、ほかの映画館で上映されているような映画を上映していくということが、自治協議会の事業としてはどうなのかというお話がだいぶ出ていた。やはり自治協議会が主催して、これだけの400名近くのお客様が来ていただける事業は、なかなかないということで、今後、内容を検討して続けていこうということになり、今年度は、子育て関係をテーマとした映画が候補に挙がり、普通の映画館ではなかなか上映されていない映画ということで、上映の可否を事務局が次回までに確認していただくことになった。またこの映画だけでなく、あわせてイベントも検討していくことになった。

○議長（小田会長） 続いて、第3部会部会長の富井委員から報告いただく。

○議長（小田会長） 資料1-3で説明する。1月14日と2月13日に第9回、第10回会議を行った。1月14日は、12月に行った「ファミリーダンス」の報告を事務局から頂き、参加した中身の検討を行った。感想も含めてである。そのほかに今年度実施した事業に対する事業評価を行った。令和2年度の第3部会の事業として、親子農業体験事業についてのスケジュールを早めに決めたほうがいいということと内容を確認した。

2月13日には、場所を曾我・平澤記念館に変え、第10回会議を行った。前回に引き続き、令和元年度の事業評価についてということと、令和2年度の提案事業としている曾我・平澤記念館の概要について説明をいただき、施設を見学した後で、令和2年度については、私たちは何ができるかということと今後、引き続き検討していくということで終わった。第3部会は以上である。

○議長（小田会長） 最後に、広報部会長の田中委員から報告を頂く。

○田中委員 第6回広報部会は、本日、13時より開催し、3月14日に発行する第17号の内容を確認した。発行の際は、皆さんぜひご覧いただきたい。

○議長（小田会長） ただいま、三つの部会、そして最後に広報部会から報告いただいた。第1、第2、第3については、1月と2月に2回部会が開かれているので、あわせて2回分を報告していただいた。ただいまの報告について、不明な点があれば発言いただきたい。ないようである。来月の自治協議会には、さらに今まで各部会で検討した検証と評価をきちんとした形で、ここで皆さん方から報告いただけることになっている。

続いて、次に移らせていただく。

### 3 報告

#### （1）令和2年度南区予算案及び南区役所組織改正について（地域総務課）

○議長（小田会長） 次第第3（1）令和2年度南区予算案及び南区役所組織改正について、（2）南区バス・乗合タクシー運行計画変更について、（3）病児保育施設の開設について、（4）南区感謝状受賞者について、（5）白根ハーフマラソンについて、この五つを報告する。あらかじめ皆さん方と申し合わせのとおり、（1）から（5）まで順次報告を頂き、最後に全体を通しての質疑をさせていただきます。

（1）令和2年度南区予算案及び南区役所組織改正について、地域総務課から説明いただく。

**○事務局（高野副区長）** 私からは、(1)、(2)について、順次報告させていただく。まず、令和2年度南区の当初予算についてである。資料2をご覧ください。こちらは令和2年度の特徴ある区づくり事業などの主な事業を南区区ビジョンの体系に落とし込みまとめたものである。

特色ある区づくり事業については、10月の自治協議会、11月の各部会において、それぞれの事業概要について説明している。したがって、ここでは特に南区の特徴的な部分についてご説明する。資料の右下にある自治協議会提案事業だが、南区では前年度同額の600万円を計上している。資料には記載ないが、各区の令和2年度の自治協議会提案事業の予算規模については、例年並みの500万円、こちらを盛った区が1区。500万円を減額した区が6区あり、南区が一番高くなっている。ちなみに最少は中央区の150万円である。自治協議会提案事業に多く配分したことで、コミュニティ協議会や地域活動の課題解決に向け、さらなる取り組みが進むことを期待している。

続いて、区づくり事業以外の南区の主な事業について説明する。資料下段の地域おこし協力隊を活用した地域の活性化事業は、2年目の事業となる。総務省の制度である地域おこし協力隊を活用して、都市圏から新潟市南区に移住可能な隊員を委嘱し、行政では難しい柔軟な地域活性化策を推進するとともに、委嘱期間終了後、隊員の定住定着を図るというものである。

予算の説明は以上で、続いて令和2年度南区役所組織の改正の概要について報告する。改正か所は3点である。いずれも、令和2年4月1日からの変更となる。

1点目、こちら区民生活課のグループ制導入である。現在ある三つの係をグループ制に移行し、業務の効率化を図っていく。2点目、南食品環境センターの廃止である。昨年7月の自治協議会で報告済みであるが、業務窓口を保健所に一本化し、業務の平準化を図るものである。3点目は、南下水道推進室の廃止である。こちらについては、お手元にカラー刷りの資料を用意している。下水道接続推進業務を強化するため、西部地域下水道事務所に普及推進室を新設する。なお、こちらの周知については、区役所、出張所にチラシを配置するほか、区だより、ホームページなどで知らせていく。

## **(2) 南区バス・乗合タクシー運行計画変更について（地域総務課）**

**○議長（小田会長）** 続いて、同じく地域総務課から、南区バス・乗合タクシー運行計画変更について説明いただく。

**○事務局（高野副区長）** 続いて、南区バス・乗合タクシー運行計画変更についてご報告する。なお、このたびの変更については、去る1月28日に開催された新潟市地域公共交通会議に上げ、承認済みである。資料3をご覧ください。まずは、区バス関係である。1、新飯田・茨曾根ルートについて、一つ目は、バス停の新設である。利用者、地域より要望があり、現在のルートに戸頭団地バス停を新設する。二つ目は、慢性的な遅延解消に向け、第1便において終点到着を3分遅らせた運行を行う。

続いて、2、白根・さつき野駅ルートである。こちらも慢性的な遅延解消に向け、第2便において終点到着を10分遅らせ、適正な運行ダイヤへと改正を行う。

続いて、乗合タクシーである。1、運賃変更である。南区乗合タクシーは、平成24年10月から区バスの補完として南区の公共交通の利便性向上につなげるため、社会実験として行っている。このたびの運賃の改定については、利用者が減少傾向の中、持続可能となる運行を目指し、収支率の改善と乗合率の向上に向け、他区の事例も参考にしながら、一人乗り乗車運賃をそれぞれ300円引き上げ、600円から1,000円までの料金とするものである。なお、乗合率向上の観点から複数乗車の方の運賃はこれまでどおり300円のまま据え置く。

続いて、2、運行エリアの変更である。現在、南区北部の一部エリアからは、白根中心部のほか、西区大野仲町へ運行している。このたび、鷺巻エリア、大郷エリアについて、記載のとおり拡充する。

最後に3、乗降停留所の追加である。こちらは、利用者運行事業者の要望により、記載のおおや整形外科前など3か所を追加するものである。引き続き、区としては、地域と密接に連携しながら、地域のニーズに丁寧に対応し、公共交通の利便性の向上に努めていく。

### **(3) 病児保育施設の開設について（健康福祉課）**

○議長（小田会長） 続いて（3）病児保育施設の開設について、健康福祉課から説明いただく。  
○田中健康福祉課長 お手元に配付している資料4をご覧ください。南区内では初となる病児保育室「みなみっくる」が新潟白根総合病院内に開設される。病児保育室は、保育士や看護師が医師と連携を図りながら、病気のお子様を一時的に預かる施設である。2月16日号の市報の特集で掲載されたのでご存じの方も多いかと思う。3月23日のオープンに先だって3月20日に内覧会が行われるので、情報提供する。

### **(4) 南区感謝状受賞者について（地域総務課）**

○議長（小田会長） 続いて、（4）南区感謝状受賞者について、地域総務課から説明いただく。  
○事務局（藤村地域総務課長補佐） （4）南区感謝状受賞者についてご説明する。資料5「南区感謝状受賞者一覧」をご覧ください。南区感謝状は、南区の発展のため、特に功績のあった方をコミュニティ協議会から推薦していただき、審査会での審議を経て受賞者を決定し、感謝状をお送りするもので、今年で3年目を迎える。市の表彰基準には該当しないが、地域で地道な活動を長く続けておられる方を表彰したいとの地域の皆様の声からできた南区の制度である。候補者の推薦にご協力をいただいたコミュニティ協議会の皆様に感謝申し上げる。今年度は、三つのコミュニティ協議会から個人3件の推薦をいただいた。2月14日、審査会を開催し、3名の方全員の受賞を決定した。受賞者、功績事由、推薦団体については、お手元の資料のとおりである。なお、感謝状の贈呈式については、令和2年3月25日、次回の自治協議会に合わせて行う予定としている。以上で、感謝状受賞者について終わる。

### **(5) 白根ハーフマラソンについて（地域総務課）**

○議長（小田会長） 続いて、（5）白根ハーフマラソンについて、同じく地域総務課から説明いただく。

○事務局（佐藤地域総務課長補佐） お手元のカラーリーフレット「白根ハーフマラソン」の大会要項をご覧ください。今年で34回を迎える白根ハーフマラソンを5月10日（日）に開催する。先月1月19日からは、参加ランナーの募集を開始しているところである。募集定員については、昨年同様に2,000人ということとしている。昨年の第33回大会にお申し込みいただいた人数は、1,944名で、うち南区在住の方は161名だった。地元南区のスポーツイベントを代表するマラソン大会なので、皆様をはじめ、ご家族、ご友人など、大勢の方からエントリーをいただき、大会を盛り上げていただきたいと考えているところである。

あわせてコース沿線にお住まいの皆様には、交通規制などでご不便をおかけするが、これまで同様にご協力をお願いする。

最後に、白根ハーフマラソンについては、今ほど申し上げたとおり、現在、開催することで準備を進めている。しかし、新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況の推移を注視するとともに、ほかの主催団体と連携しながら開催や実施内容について、判断をしてみたいと考えているところである。

### **(1)～(5) 質疑応答**

○議長（小田会長） ただいま、（1）令和2年度南区予算案及び南区役所の組織改正についてから（5）の白根ハーフマラソンについて、順次、説明をいただいた。一括して委員各位の質問、ご意見を頂戴する。

○鞠子委員 意見である。資料2の令和2年度南区の主な取り組みの左下のところに、だれもが快適に移動できる交通の利便性の高いまちという形で、にいがた南区創生会議の会長や上杉さんがコミュニティ協議会の北部、中部、南部と1月の末に会合を持った。非常によかったと、私はそれが言いたかった。今まで、にいがた南区創生会議というものの自体の活動がよく見えなかったが、それが1月31日に北部地区では、私と根岸、鷺巻、大郷のコミュニティ協議会会長、副会長がお見えになって意見交換したのだが、やはりある部分で情報が公開されるということが一

番大事であって、その中でいろいろなご意見を頂き、創生会議の今の利便性を高める方向性について、私自身、個人的には非常にいいものだと思えた。今後も、創生会議とこの場なのか、コミュニティ協議会の部分的な集まりなのか、それから私が第1部会のほうで、特に交通の利便性については、意見交換をしているので、そこのメンバーと交流を持ちたいと考えている。今後、業者のほうと地域とどうやって結びつけるかという面においてよかったなという意見と感想である。これからも、このように意見交換をしながら、ある一方的な見方だけではなくて、地域の困っていることなどが、創生会議の中にインプットされていくことが一番大事かなと思ったので、意見させていただいた。

○議長（小田会長） 大変貴重なご意見、ありがとうございます。後ほど、またこのにいがた南区創生会議の模様についてはお話があらうかと思う。ほかにどうぞ。

○松尾委員 今、いろいろと報告があったわけだが、やはり今、世の中を騒がせているのは新型コロナウイルスという観点だが、新潟にはまだ、今のところ感染者がいなくてストップしていると思うが、実際、近隣のところが少し出てくると、我々の行事、会議等をどのような形でストップをかけるのか、それとも進めていくのかということは、私はどうするのかと思っっているが、新潟県としてどうするのか、新潟市としてどうするのか、南区としてどうするのかということで、1人出た場合は、会議をやめるのか、それとも何人までいいのかとか、いろいろな方法があると思うが、どこかで埋め合わせをつけないと、これはだんだん風評被害も出てくる中で、進め方が難しいのではないかと思うが、もし区のほうでこういう場合だったら、もうやめるといふ観点がきちんとできているのであれば、教えていただきたいと思うし、実際に行動していけば、必ずそういう問題が起きてくると思うので、確認の意味で教えていただければと思う。

○渡辺区長 大変ありがとうございます。

まだ新潟県に入っていない状況なので、今のところは市役所内では、新型コロナウイルスの調整会議、情報交換の場所を作っている。今まで2回ほど開催をしている。明日また3回目を開催することになっている。今後の動きとしては、まず、どういう対応を取るかということ、この新潟県に出た場合に新潟市でどういう対応をとるかということ、これからその調整会議の中で決めていこうということになっている。とりあえず、今のところ予定だが、例えば、多くの人たちがいるような、集まるような場所については、今、国が言っていることは、3月中旬くらいまで、なるべく多くの人々が接触しないようにということも言われているので、例えば、これまで最終的な決定にはなっていないが、老人の温浴施設みたいなところに集まることは停止しようとか、地域の茶の間等もこれからになると思うが、人が集まる、特に地域の茶の間はちょうど、ご高齢の方々がいっぱい集まる場所なので、これは市としてやっている部分ではなく、社会福祉協議会や地域の自治会のほうでやっている部分なので、強制的にやるということではなく要請するという形をやっけいこうという話も出ている。あとはスポーツ施設をどうするかは、まだ決まっていないので、明日の会議等で、新潟市としての今後の方向性がある程度出されるのではないかと思っている。ちょうど長野まで来ているので、新潟県に出た場合に、緊急会議をまた開催して、新潟市での対応を考えていくというスケジュール感を持ってやっているの、皆さんへの情報提供はこれから決まり次第お伝えするということになると思う。よろしく願います。

○議長（小田会長） 松尾委員よろしいだろうか。ほかにどうぞ。

○渡邊（喜）委員 今、ご説明の中で資料4、「みなみっくる」ができるということでご説明いただいた。下のところに駐車場が書いてあるが、子どもというのは恐らく急に体調を崩されると思う。ここでは事前登録ができると書いてあるが、事前登録をご希望の方と健康な子どもでも事前登録をしてくれみたいな感じなのかどうか。その辺のニュアンスは分からないが、できたらご希望の方は、母子手帳、その他をお持ちいただきたいというように、いつでも病気が発生したときは入れるようにされたほうがいいのかという書き方がより親切ではないかということが1点である。

もう一つは、なぜこんな書き方をしたのかと考えてみると、恐らく病室に許容範囲があるので、その範囲内でできたら考えたいということだろうと思うが、その2点について、もう少し詳しくご説明いただければありがたいと思う。

○議長（小田会長） 南区にとっては長い間の念願であった。ようやくこの病児保育所が開設さ

れることになった。行政のほうのご努力と新潟白根総合病院、あるいは保健生活協同組合の皆さん方に敬意を表しているところだが、今の渡邊委員の質問について、田中健康福祉課長、説明をお願いします。

○田中健康福祉課長 ありがとうございます。このチラシについては、新潟白根総合病院のほうでお作りいただいたものである。内容については、簡単に言えば、事前登録があって、受診してもらった医師の連絡票の発行をしてもらったりとか、施設の空き状況を確認したり、利用予約していただいて利用ということなのだが、先ほどのご説明でも簡単に触れたが、ぜひ2月16日の市報の特集号に掲載されているので、そちらで見ただけであればいいと思うし、基本的には一回、事前登録をすれば、どこの病児保育室でも使えるということになるので、使うときにはぜひひとことと、この新潟白根総合病院のチラシにお問い合わせ先というものを書いているが、オープン前については、こちらの電話番号、オープン後についてはこちらの電話番号と書いてあるので、具体的にご利用の場合は、こちらにご連絡していただければよろしいかと思う。

○渡邊（喜）委員 今のご説明で、大変よく分かったが、一点、どこの病院でも入れるというようなお話があったが、これは南区だけではなくて、緊急の場合は、新潟市内だったらどこでもという意味なのだろうか。

○田中健康福祉課長 新潟市内の病児保育室についても、2月16日号の市報にも載っているが、どこでも空いているところがあればご利用いただくことができる。

○渡邊（喜）委員 了解した。ひとつよろしく願います。

○久保委員 今の病児保育に関してだが、2月16日の市報に載っているということだが、今後、こういったものが開設しているということをもっと更に周知するようなことは考えているのだろうか。やはり市報を見ていない人も、多分、たくさんいると思うので、そういう人たち、特に小さいお子さんがいる方たちに向けて特別何か考えているのか、教えていただきたい。

○議長（小田会長） さらに周知の方法についてのお尋ねである。

○田中健康福祉課長 特に南区の方に周知させていただきたいと思っているので、区だよりの「みなみ風」に掲載したいと考えている。

○久保委員 市報などもいいが、多分、市報を見ない人はけっこういるのではないかと思う。例えば、保育園や小学校といったところで、こういったものがあるよと、PTAとか、そういった形での周知はしないのだろうか。

○田中健康福祉課長 もちろん保育園だとか、小学校などに周知させていただきたいと考えている。

○大那委員 報告（3）の白根ハーフマラソンの件で提案がある。今のこのチラシを見ても、第34回も重ねているわけだが、このチラシの中の「田園風景をのどかに走る」とすばらしいという文句があるが、残念ながら私が、毎年参加されている方の話だが、この田園風景ということ、いわゆる意外と交通の関係もあり、田んぼ道を走るような関係で、一番疲れたころになると、だれも応援団がいないと、本当にさびしく一人で走っているのだと。だから、今年は参加しないでやめようかと思うが、やはり参加するのだということだ。今、この協議会でも、新飯田から味方までのコミュニティ協議会があるわけだから、できればこのコースの中の参加者の通過時間が分かるかと思うので、各コミュニティ協議会でお話をなさせて、時間的に何とか都合をつけて、2人でも3人でも応援団が出れば、この田園風景をのどかに走るといううたい文句に合っ、非常にいいのではないかと考えているところである。この辺をひとつ皆さんから協力していただければ、すばらしい白根ハーフマラソンができるのではないかと考えているところである。

○議長（小田会長） 今、大那委員から、非常に建設的な発言をいただいた。各コミュニティもこれに向かってひとつ努力をいただければと思う。ほかにどうぞ。

（1）から（5）までの報告についての質疑を終了させていただく。

## （6）その他

○議長（小田会長） 続いて、次第3（6）その他に移らせていただく。まず、事務局から何かあれば発言いただきたい。

○事務局（佐藤地域総務課長補佐） お手元のカラーチラシ「安兵衛が暮らした名家長井家の家

宝展」について、ご案内する。昨年9月のこちらの自治協議会本会議の場でもご案内しているが、赤穂浪士の一人であった堀部安兵衛が現在の南区庄瀬地区牛崎の安兵衛の姉さんの嫁ぎ先である長井家で15歳から18歳までの間、身を寄せていたと伝えられている。この縁もあり、昨年7月に埼玉県内にお住まいの長井家のご子孫より、長井家伝来の品々約30点を新潟市にご寄付いただいたところである。この貴重な品々を来月3月21日（土）から26日までの間、白根学習館を会場に展覧会を開催するものである。初日の21日は、長井家からご子孫を講師に招き、記念講演会も開催することとしている。なお、現在、関係団体、また部署と相談をしながら開催準備を進めているところだが、先ほどの白根ハーフマラソンでも触れたが、新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況の推移を注視しながら、他の主催団体とともに開催については、慎重に検討また判断をすることとしている。

**○事務局（藤村地域総務課長補佐）** 私からは、今年度、南区で導入していた地域おこし協力隊、南区においては「みなみーて地域応援隊」と呼んでいるが、これについてお知らせがある。1月の新聞記事をご覧になった方もおられると思うが、昨年6月から隊員として活動していただいていた蛭間友里恵さんだが、残念ながら今年の1月末をもって退任された。昨年大きな話題を呼んだ白根子行進曲の復活で活躍し、それらの活動実績が評価を受け、かねてから希望されていた他県の団体に就職が決まったものである。南区としては、現在、4月からの新たな隊員の委嘱に向け、再募集の事務を進めている。新しい隊員が決まったら、自治協議会で報告をさせていただく。新しい隊員についても、蛭間さん同様、地域の活動に取り組んでいくことになると思う。今後ともご指導、ご協力をお願いする。

続いて、2点目、にいがた南区創生会議から各コミュニティ協議会様へのお礼についてである。本日は、創生会議のメンバーであり、自治協議会委員でもある梅津委員が欠席されている。また、創生会議の海津会長以下メンバーの方も出席がかなわないので、創生会議からのメッセージをお伝えさせていただく。

本年1月に計4回にわたり南区の公共交通結節点の検証と整備基本構想策定に係る報告会、意見交換会を開催し、区内12のコミュニティ協議会の皆様からご出席をいただいた。寒さ厳しき折、貴重なお時間をいただき、さらに各地域の状況や多くの忌憚のないご意見をお聞かせいただいた。改めてお礼申し上げます。

いただいたご意見などを踏まえ、年度内に報告書としてまとめるため、作業を進めている。今後の創生会議の活動に、これまでと同様にご支援を賜るよう、お願い申し上げます。以上、創生会議からのメッセージである。

**○議長（小田会長）** 続いてあげばどうぞ。

**○相田健康福祉課主幹** 健康福祉課の保健師から感染症対策へのご協力をお願いするというところで、お手元の資料に沿って手洗いと咳エチケットのお願いをさせていただきたい。

先ほどから話題に出ている新型コロナウイルスを含むインフルエンザ等の感染症の対策の基本は、まずは手洗い、マスクの着用を含む咳エチケットになっている。このチラシは、厚生労働省が出しているチラシになっており、ホームページから皆様方もご覧になることができる。まず手洗いからお話しさせていただきたいと思う。

手洗いは外出から帰ってきたら、また何か食べ物を食べたり、飲んだりするときに、ぜひ行っていただきたいと思う。こちらの資料にある1番の手洗いは、石けんを使ってしっかり手洗する方法が書いてあるので、またご覧いただきたい。特に手洗いで気をつけていただきたいところは、指の先や爪の間をきちんと洗っていただけるといいと思う。資料では手首も忘れずに洗うということを書いてあるが、本来、手首まで洗っていただけると万全である。また、石けんで手を洗い終わったら、十分に水で流していただき、清潔なタオル、もしくはペーパータオルを使ってよく水分を拭き取っていただきたい。ここでタオルを家族で共用していると、家族の中に何か感染症をお持ちの方が出られた場合、同じタオルで皆さん家族が手を拭くと、感染した方のインフルエンザの菌やいろいろな菌が、せっかく手を洗ったきれいな手につけてしまうということになるので、タオルはぜひ、家族一人ひとり、手拭きのタオルを使うか、もしくはペーパータオルの使い捨てにされるといいと思う。

続いて咳エチケットである。今、テレビでも盛んに咳エチケットと言っているが、マスクが非



常に手に入りにくい状況になっているが、まず咳、くしゃみが出る方は、必ずマスクをしていただきたいと思う。マスクがたまたまなく、急にくしゃみや咳が出そうになったという方は、×で書いてあるが、手で押さえてしまうと手に全部、くしゃみや咳で出てきたしぶきが手についてしまって、その汚れた手でいろいろなところを触ってしまうというところが、感染を広げることになるので、手で押さえるのではなく、咳エチケットの○がついている女の子のイラストで、袖で口鼻を覆うと書いてあるが、二の腕の太いところで口や鼻を覆って、咳やくしゃみをしていただきたいところである。

下のほうでは、正しいマスクの着用のしかたが書いてあるので、こちらもご覧いただきたい。ポイントは鼻と鼻の間に隙間ができないこと。あとは空気が漏れやすいのはゴムのついている横からも空気が漏れやすいので、ぜひそこはきちんと空間が空いていないかというところで確認をしていただければと思う。

○議長（小田会長） 今、事務局から長井家の家宝について、地域おこし協力隊について、にいがた南区創生会議のコミュニティ協議会説明会について、咳エチケットについての連絡をいただいた。これらについて、不明な点があれば、どうぞ発言いただきたい。

では、委員の皆さん方から報告、あるいは連絡があればどうぞ。

○久保委員 皆様のお手元に、小林コミュニティ協議会のひなまつりコンサートのパンフレットを置かせていただいた。次の日曜日3月1日に開催する。このひなまつりコンサートは、小林地域の春を告げる毎年の恒例行事として、今回、13回目になる。毎回、一流の方をお招きし、大体、150人くらいお客さんをお迎えしてコンサートを開いている。小林地域一体となって頑張っておもてなしをするので、またぜひ皆様からも一回、お越しいただきたいと思う。よろしく願います。

○議長（小田会長） ほかに委員の皆さん方からあればどうぞ。

ないようである。私のほうから一つお願いがある。先ほどの区の予算についてもお話があった。南区が自治協議会提案事業全8区の中で最高の600万円の予算配当を今年もつけていただき、現在、議会に審議中である。恐らく満場一致で採択できるものだと思っている。サポート事業については、すでにさまざまなお話もさせてもらっているし、お手元にもチラシをお配りしている。現在、令和2年度の事業を募集しているところだが、今ひとつ、応募の盛り上がりには欠けているようである。ぜひとも各コミュニティ協議会、地域活動団体、さまざまな団体に積極的に皆さん方から呼びかけていただき、ご応募をお待ちしているところである。来月には説明会が開催される。説明会に出席しないと、以後の事業展開ができないことになっているので、おのこのコミュニティ、あるいはさまざまな団体に皆さん方のほうの呼びかけをお願いしたいと思っている。

その他、ほかにないだろうか。なければ、その他はこれで終わらせていただく。

#### 4 次回全体会の日程について

○議長（小田会長） 続いて、次回の全体会の日程である。毎月、最終の水曜日ということになるので、3月25日（水）となる。当日は、前々から申し上げていたように、中原市長と自治協議会委員との懇談会が、この会場で午後1時30分から開催される。よって、自治協議会の審議の前に市長との懇談会を行いたいと思うので、午後1時30分から南区役所講堂この場所で、開催としたいと思うがいかがか。異議なしとの声ある。万障お差し繰りのうえ、次回は3月25日（水）午後1時30分、市長との懇談会から開催するということにご確認をいただきたいと思う。

#### 5 閉会

○議長（小田会長） 以上をもって、本日は順調に会議を進めさせていただいたが、第9回南区自治協議会を終了する。お風邪など召さないようにご自愛をいただければと思う。ご苦労さま。

（午後3時00分）